

## 第2学年1組 国語科学習指導案

児童数 30名  
指導者 上野 裕美

1 単元名 ようすを考えてよもう お手紙

2 単元について

- ・ 本単元は、場面の様子や登場人物（がまくん、かえるくん）の心情について叙述をもとに想像豊かに読んだり、登場人物の気持ちがよく表れるように音読したりすることをねらいとしている。

本教材「お手紙」はアーノルド＝ローベルの作品「ふたりは・・・」シリーズの一つである。このシリーズの作品は、がまくん、かえるくんというふたりの登場人物の心温まる交友関係が描かれている。話の内容には子どもたちの普通の生活にオーバーラップした叙述が多いため、子どもたちにとって親しみやすく、物語の世界に入っていきやすい。特に「お手紙」は、手紙をもらったことがないがまくんと、そんながまくんを喜ばせようと手紙を書くかえるくんのふたりの心の移り変わりが会話文に生き生きと表現されており、登場人物の心情がとらえやすい教材である。また、「手紙を待つがまくん」「手紙を書くかえるくん」「ベッドで寝ているがまくんと手紙を待つかえるくん」「手紙を待つふたり」など挿し絵と結びつけて場面の様子がとらえやすい。「お手紙」をみんなで叙述と結びつけて読み深める活動や、会話文を登場人物の気持ちになって音読する活動を通して、想像したり楽しく読んだりする能力を高めていきたい。

- ・ 本学級の子どもたちは、1年生のときより音読集「ひばり」や「おがわ」を読む活動に取り組んできており、声に出して読む音読が大好きである。また、読書の時間には、いろいろな種類の本の読み聞かせに集中して聞いたり、毎朝「10分間読書」の時間には興味のある本を喜んで読んだりする姿が見られる。しかし中には、絵だけでページを追っていき、じっくりと読めない子どももいる。

「ふきのとう」の学習では、リズムカルな表現を音読するのを楽しみ、登場人物がそれぞれ相手を思いやっていることに心をひかれるなど、場面での様子を想像することができた。また、「スイミー」の学習では、叙述に沿って書き込みをし、それぞれの場面でのスイミーの様子や気持ちを豊かに想像し、それを音読でも表現しようと進んで練習することができた。学習後の感想では、作者の意図まで考える子どももいたが、読むことが精一杯で、自分の考えをもったり、友達の考えを聞いたりして学習を深めることができなかつた子どももいる。また、話し合いでは、意見をかわらせる子どもが固定しがちである。

一方、本学級の子どもたちは友達関係で問題を起こすことが多い。特に男子の中には相手の気持ちを考えずに行動したり、わがままを言ってみんなを困らせたりする子どももいる。本単元のふたりの心温まる関係や「ふたりは・・・」シリーズのふたりの優しさに触れ、「友達っていいな」と感じることをできればと願っている。

- ・ そこで、本単元の導入時に「ふたりは・・・」シリーズの中から、「はるがきた」を読み聞かせ、がまくんとかえるくんの相手を思いやる優しさや明るい性格に触れ、「他の話も読んでみたいな。」という子どもたちの意欲を高めたい。また、単元全体のテーマを、学級の目当

て「きらきらいっぱい」とつなげて、「ふたりの『きらきら』をいっぱい見つけてしょうかいしよう」とし、進めるようにしていく。(『きらきら』は友達の優しさやがんばりなど、友達のよさを表す言葉として子どもたちと共通理解している)

次に、教材文「お手紙」をみんなで読み進めていき、そのことをもとに、「ふたりは・・・」シリーズ20話の中から好きなお話を選択して一人で読み進め、ふたりの「きらきら紹介カード」を書き、みんなに紹介する活動を取り入れる。このことを通して「ふたりのきらきら」を交流する場を設け、話のおもしろさや互いを思いやる優しさにより深く気づいてほしいと願っている。

さらに、学級活動と結びつけグループでの音読発表会を設定する。「聞いてもらう」相手がいることで、「ふたりの気持ちを分かりやすく伝えるためには、どんな読み方がよいか」を考えながら練習していただく。グループの主体的な活動を支援していきたい。

### 3 研究主題との関連

仮説2 国語科の各領域における基礎・基本を明確にし、個に応じた支援を工夫することにより、子どもの学びを保障することができる。

本単元は読むこと、書くこと、言語能力の三つの領域にわたってのねらいがあるが、主に読むこと的能力に重点を置いて指導をしていく。

教材文「お手紙」は、主な登場人物ががまくん、かえるくんのふたりである。だれが何をしたのかをはっきりとらえたり、気持ちがよく表れている多くの会話文についてだれが言った言葉かをはっきり理解したりすることが、ふたりのかかわりや気持ちを想像しながら読むために重要である。また、あらすじを明確にとらえることも想像豊かに読むためには不可欠である。さらに、叙述に沿って読み取ったことをもとに、豊かに音読することができるようにしていきたい。本単元ではこれらの指導内容について次のような支援を工夫して指導していく。

読むことウ・・・場面の様子やがまくん、かえるくんの気持ちを想像しながら読む。

- ・あらすじを確かにとらえる。  
あらすじを確かにとらえることができるようにするために、大きな挿し絵を用いて範読したり、挿し絵におおまかなあらすじを書き加えて掲示したりする。  
また、挿し絵を教室のまわりに掲示して、物語の世界に浸る環境を整える。
- ・登場人物の会話文を手がかりにして、想像しながら読む。  
会話文の中にがまくん、かえるくんの温かい心のふれあいが描かれている。一つ一つの会話文について誰が言った言葉なのかをはっきりさせることは登場人物の気持ちや気持ちの移り変わり、かかわりなどに気づくためには重要である。そこで、一緒に読みながら誰が言った言葉なのかを確認したり、会話文の上に記号をつけたりしていく。
- ・だれが何をしたのかを押さえながら想像豊かに読む。  
読むことが苦手な子にとっては、だれがしたことか把握しにくい叙述がある。そこでペープサートや動作化を取り入れたり、挿し絵

で確かめたりしながらだれの言動かはっきりさせながら読み進めていく。

- ・ 叙述に沿って様子を想像しながら読む。

叙述に沿って様子を想像しながら読むことができるようにするために、自分の思ったことや考えたことを書き込む一人学習を取り入れる。一人学習では教科書の文をコピーし、自分の思いを書き込むことができるような学習シートを用いる。また、なかなか様子を表す言葉を見つけられない子どもには、とらえてほしい叙述に線を引いたり、気持ちを考えてほしい叙述には吹き出しを書いたりして、一人で学習に取り組みやすいような学習シートを工夫する。

- ・ 読み取ったことを交流し合い想像豊かに読む。

叙述に沿って、自分の思ったことや考えたことを書き込む一人学習をした後、学習課題に対する自分の考えをノートに書く。一人一人の思いを十分にもつことができた後、話し合うことで自分の考えを深めることができると思う。

- ・ 自分の読みを深める。

毎時間の終わりに国語日記を書き、自分の読みを振り返る時間を取る。書き込みをしながら分かったことや、友達の意見を聞いて考えが深まったことなどを書くことで、自分の読みを深めることを期待したい。また、なかなか自分の思いを書き込めない子どもには、書く視点を与えたり子どもの思いを聞き助言したりするなどきめ細かな支援をしていきたい。

読むこと工・・・語や文としてのまとめりや内容、響きなどについて考えながら声に出して読むこと

- ・ 音読の目当てをもち、様子を思い浮かべながら工夫して読む。

音読が好きな子どもたちにとって、この教材は会話文が多く、登場人物の気持ちが会話文で表現しやすい教材である。そこで、今まで取り入れていた音読記号や気持ちを表す記号などを書き込み、様子や気持ちを思い浮かべながら表現できるよう支援していきたい。

言語工(ア)・・・主語と述語の関係に注意して、読んだり書いたりする。

- ・ 「お手紙」に出てくる文章表現の中で、「何が(だれが)」「どうした・どんなだ・なんだ」を確かめ、それぞれの場面の中で、「何が」と「どうした」の関係を正しくとらえて文を読んだり書いたりすることができるようにしていく。

仮説3 一人一人が自分の感じたことや考えたこと想像したことを表現することができるような学習過程を工夫することにより、自分の思いを豊かに表現し意欲的に学習に取り組むことができる。
--

本単元では、一人一人が想像豊かに読むことができるようにするために、次のような学習過程を工夫する。

- ・ 導入で「はるがきた」を読み聞かせ、登場人物の特徴やふたりのかわりについて触れ、「他の話も読んでみたいな。」という子どもたちの意欲を高める。

また、他の20話の中から自由に読み、ふたりの関係をとらえつつ、

単元全体を「ふたりの『きらきら』をいっぱい見つけみんなに紹介しよう」という学習テーマで進めていく。みんなに紹介するという目的意識をもった学習過程を取り入れることで、子どもたちは主体的に学習に取り組むと考える。

教材文「お手紙」を読み深める過程では、個に応じた学習シートに、自分の思ったこと・考えたこと・疑問に思ったことなどを自由に書けるようにする。特に、会話文や様子を表す言葉などの叙述に目が向くよう、助言をしたり学習シートに朱書きをしたりしていく。

第3次では、「お手紙」で学習したことをもとに、「ふたりは・・・」シリーズ20話の中から好きな話を選択し一人で読み進め、ふたりの「きらきら紹介カード」を書き、みんなに紹介する活動を取り入れる。

また、毎日の帰りの会で、「ふたりは・・・」シリーズの中で自分が読んだ話の中から「すてきな友だちだな」と思ったところを紹介し、感想を発表し合う場を設けていく。子どもたちは、自分の生活を振り返りながら考えたり、がまくんとかえるくんの友情を多面的にとらえたりしていくであろう。

最後の音読発表会では、聞く人に読み取ったことが伝わるような音読ができるよう、読み方の練習や相互評価ができる場を設けていきたい。

#### 4 単元の目標

- ・ 場面の様子や登場人物の心情を、会話文や叙述と挿し絵を結びつけて読み、自分なりの感想をもつ。
- ・ だれが何をしたのかをとらえ、主語と述語の関係に注意して読みたり書いたりする。

#### 5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登場人物の気持ちを想像しながら、読もうとしている。</li> <li>・ 意欲的に音読練習に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ がまくんとかえるくんの会話をもとに、それぞれの場面の様子や登場人物の心情を想像しながら読んでいく。</li> <li>・ がまくんとかえるくんの気持ちがよく表れるように、目当てをもって音読している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 叙述に即して、自分の思ったことやふたりのかかわりについて書いている。</li> <li>・ 20話の中から気に入った1話を選んで、読み深め、「ふたりのきらきら」を学習カードに書いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「だれがどうした」の関係が分かるように、読みたり書いたりする。</li> </ul>

7 全体計画 17時間(本時 12/17時)

学習活動及び予想される児童の意識の流れ (配時)																					
出会う・課題をもつ	<p>第1次 友だちって何? アーノルド＝ローベルの作品に出会う。(2時間)</p> <p>一緒に遊んでくれる人。困ったときになぐさめてくれる人。物を落としたら、拾ってくれる人。</p> <p>「ふたりはともだち」の中から、「はるがきた」の読み聞かせを聞く。</p> <p>優しいね。相手のことを思っている。</p> <p>カレンダーを見て5月だと信じたがまくんは、おもしろいね。</p> <p>がまくんとかえるくんはすてきな友達だね。</p> <p>他にもがまくん・かえるくんの話があるのかな? 「ふたりは…」シリーズの中から読んでみよう。(1時間・課外)</p> <p>「ふたりの『きらきら』をいっぱい見つけて紹介しよう」</p>																				
	<p>みんなで「お手紙」を読んでもっと『きらきら』を見つけよう</p> <p>第2次 教材文「お手紙」を読む(12時間)</p> <p>挿し絵と叙述をもとにあらすじをつかみ、学習計画を立てる。(1時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初発の感想をもとに、場面分けをする。</li> <li>手紙を待つがまくん 手紙を書くかえるくん</li> <li>ベッドで寝ているがまくんとお手紙を待つかえるくん</li> <li>手紙を待つふたり</li> <li>思ったことを学習シートに書き込む。(1時間)</li> <li>場面ごとに、学習課題について考えたり話し合ったりする。(8時間)</li> </ul> <p>発表会に向けてがまくんとかえるくんの気持ちを考えよう。</p>																				
課題を追究する	<table border="1"> <thead> <tr> <th>場面</th> <th>予想される学習課題</th> <th>学習活動</th> <th>支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>・どうしてふたりは、かなしい気分でげんかんの前にこしをおろしていたのかな。</td> <td>学習課題について自分の考えを書く。</td> <td>・「だれが何をしたのか」分かるように、ペープサート・動作化・挿し絵で確かめながら読むようにする。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>・かえるくんは、どうしてがまくんに手紙を書いたのだろう。 ・どうしてかたつむりくんに手紙を渡したのかな。</td> <td>学習課題について話し合う。</td> <td>・なかなか様子を表す言葉を見つけれない子どもには、とらえてほしい叙述に線を引いたり、気持ちを考えてほしい叙述には吹き出しを書いたりできるような学習シートを工夫する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>・ベッドでお昼寝をしていたがまくんはどんな気持ちだったのかな。 ・かえるくんは、手紙を書いたことをどうして言わなかったのかな。</td> <td>読み取ったふたりの気持ちが表れるように音読する。</td> <td>・叙述に沿って話し合うよう助言する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>・ふたりは、手紙を待っているときどんな気持ちだったのかな。</td> <td>国語日記を書く。(見つけたきらきを)</td> <td>・国語日記は、観点を決めて書くよう助言する。</td> </tr> </tbody> </table>	場面	予想される学習課題	学習活動	支援	1	・どうしてふたりは、かなしい気分でげんかんの前にこしをおろしていたのかな。	学習課題について自分の考えを書く。	・「だれが何をしたのか」分かるように、ペープサート・動作化・挿し絵で確かめながら読むようにする。	2	・かえるくんは、どうしてがまくんに手紙を書いたのだろう。 ・どうしてかたつむりくんに手紙を渡したのかな。	学習課題について話し合う。	・なかなか様子を表す言葉を見つけれない子どもには、とらえてほしい叙述に線を引いたり、気持ちを考えてほしい叙述には吹き出しを書いたりできるような学習シートを工夫する。	3	・ベッドでお昼寝をしていたがまくんはどんな気持ちだったのかな。 ・かえるくんは、手紙を書いたことをどうして言わなかったのかな。	読み取ったふたりの気持ちが表れるように音読する。	・叙述に沿って話し合うよう助言する。	4	・ふたりは、手紙を待っているときどんな気持ちだったのかな。	国語日記を書く。(見つけたきらきを)	・国語日記は、観点を決めて書くよう助言する。
	場面	予想される学習課題	学習活動	支援																	
	1	・どうしてふたりは、かなしい気分でげんかんの前にこしをおろしていたのかな。	学習課題について自分の考えを書く。	・「だれが何をしたのか」分かるように、ペープサート・動作化・挿し絵で確かめながら読むようにする。																	
	2	・かえるくんは、どうしてがまくんに手紙を書いたのだろう。 ・どうしてかたつむりくんに手紙を渡したのかな。	学習課題について話し合う。	・なかなか様子を表す言葉を見つけれない子どもには、とらえてほしい叙述に線を引いたり、気持ちを考えてほしい叙述には吹き出しを書いたりできるような学習シートを工夫する。																	
3	・ベッドでお昼寝をしていたがまくんはどんな気持ちだったのかな。 ・かえるくんは、手紙を書いたことをどうして言わなかったのかな。	読み取ったふたりの気持ちが表れるように音読する。	・叙述に沿って話し合うよう助言する。																		
4	・ふたりは、手紙を待っているときどんな気持ちだったのかな。	国語日記を書く。(見つけたきらきを)	・国語日記は、観点を決めて書くよう助言する。																		

(課外)朝・昼の読書で二十話の中から選んで本を読み、帰りの会で『きらきら』を紹介する。

課題を追究する	<p>4場面の中から好きな場面を選び、音読練習をし、発表する。 (1時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの場面で、ふたりの言動から気持ちを想像し、音読する。</li> <li>音読の目当てや工夫したことも伝える。 「お手紙」で学習したふたりについて、「お手紙」を書いて、家の人に伝える。(1時間)</li> </ul>
まとめる	<p>第3次 「ふたりは・・・」シリーズの中から、気に入った1話を選び、ふたりの『きらきら』を紹介する。(3時間) 「お手紙」で学習したことを生かして、読み進め、紹介カードを書き、みんなに紹介する。</p> <div data-bbox="300 667 644 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>落ち葉の話は、相手を思いやっているね。そんなところが『きらきら』だよ。</p> </div> <div data-bbox="683 676 1209 792" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>くいしんぼうのがまくんがアイスクリームをかえるくんを買って買ってあげるところが、かわいいな。</p> </div>
ひろがり	<p>課外(学級活動) 1年生を招待して音読集会をしよう。</p> <div data-bbox="268 936 625 1214" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>「あしたするよ」で、がまくんが、あしたすることまでやって、ねてしまったところをおもしろく読みたいな。</p> </div> <div data-bbox="641 945 960 1214" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>がまくんの会話文は くん、かえるくんの会話文は さんが読むといいよ。</p> </div> <div data-bbox="976 900 1455 1034" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>かえるくんとがまくんのペープサートも、使ってみよう。</p> </div> <div data-bbox="976 1057 1225 1303" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>1年生に分かりやすいように、気持ちをこめて大きな声で読もう。</p> </div>